

大宮通信

大宮中学校 学校だより
第95号 2025.10.27

心と体を育てる秋



10月も後半になり、朝晩がとても肌寒く感じられる日もあります。日が暮れるのも早くなり、仕事を終えて帰るころには、すっかり暗くなっています。そんな時、どこかものさみしさを感じますね。空に浮かぶ雲の形や、公園の木々の葉の色づきから、少しずつ秋の深まりを感じられるようになっていきます。

秋は「スポーツの秋」「読書の秋」「実りの秋」と、いろいろな表現をされます。今週の金曜日には体育大会を行います。保健体育の授業の時に、みんなの元気な声が聞こえてくると、私も元気になります。

結果もちろん大事ですが、「全力で取り組むこと」「なかまと協力すること」も大切にしてください。競技に出場するときも、応援するときも、係の仕事をするときも、みんなで力を合わせて、一人ひとりが成長できる体育大会にしてください。

さて、先週は「新聞週間」についてお話ししましたが、今日からは「読書週間」が始まります(10月27日～11月9日)。

新聞はニュースを通して自分の視野を広げ、考える力を育てるものです。それに対して読書は、物語の主人公になりきって想像をふくらませ、心を豊かにすることができます。さらに、興味のあることについて、より深く考えるきっかけにもなります。

先日、第2図書室に行ったときに、1冊の本が目にとまり、さっそく借りました。タイトルは「英語、苦手かも…?と思ったときに読む本」。筆者はアメリカ生まれで、30年以上日本で英語を教えておられるそうです。テレビ番組に出演したり、新聞にたくさん記事を書かれたりしている方です。

まだ読みはじめたばかりですが、「どんなふうに英語を勉強すればいいのか」について、わかりやすく書かれているのだろうと期待しています。少しずつ読んでみようと思っています。

今週は体育大会で、思いきり体を動かしてください。そして本や新聞を通して活字にふれ、視野を広げ、心を豊かにできる1週間にしてほしいと思います。

肌寒い日が続き、体調を崩す人も増えてきました。生活のリズムを整えて、ウイルスなどに負けない体づくりをしましょう。

過ごしやすくなった季節を感じながら、今週もすてきな一週間にしてください。